

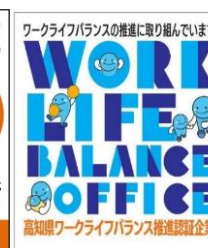


社会福祉法人ウエルプラザ

2025年6月2日（月）社会福祉施設におけるこども食堂実施事例紹介オンラインセミナー

こども食堂「なごみカフェしなね」の取り組みについて

～社会福祉法人、特別養護老人ホームでこども食堂を実施する強み・魅力～



特別養護老人ホーム ウエルプラザ 高知
副施設長 生活相談員 兼 介護支援専門員 藤山 輝（社会福祉士）

目次（CONTENTS）

- 01 法人・施設概要
- 02 高知県の状況（人口・こども食堂）
- 03 「なごみカフェしなね」概要
- 04 こども食堂に取り組むに至った経緯
- 05 こども食堂開設準備
- 06 活動内容
- 07 地域との連携
- 08 今後の展望・課題

01 法人・施設概要



社会福祉法人 ウェルプラザ
Group Information

<香美市秦山町地区>

- 法人本部
- ケアハウス好日館
- 介護付有料ウエルリブじんざん
- 老健 とさやまだファミリア
- ユニット型特養 ウェルプラザやまだ荘



<香美市百石町地区>

- 楠目眼科



- グループホーム
シルバーハウス寿楽



- サービス付き
高齢者住宅うぶすな



<高知市一宮地区>

- ユニット型特養ウエルプラザ高知



<香美市物部町地区>

- 高齢者生活福祉センターこづみ



<安芸郡芸西村地区>

- ユニット型特養ウエルプラザ洋寿荘
(全国初木造二階建)



- ① 特別養護老人ホーム ウエルプラザ高知 (入居定員 80 名)
- ② ウエルショートしなね短期入所生活介護事業所 (利用定員 20 名)
- ③ ウエルデイしなね通所介護事業所 (利用定員 28 名)



ユニット型特養ウエルプラザ高知全景

施設内より高知市街をのぞむ



デイサービスレクリエーションルーム



中庭テラス (パティオ)



02 高知県の状況



社会福祉法人ウエルプラザ

- ・ **推計人口**（令和7年5月1日現在）

	総数	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上
高知県	648,008人	65,367人	343,340人	239,301人
高知市	310,948人	32,996人	179,049人	98,903人

※高知県産業振興推進部統計分析課調査（2025年）

- ・ **こども食堂開設状況**（令和7年5月29日現在）

高知県：114カ所（23市町村/34市町村） ※休止中含

高知市：49カ所

※高知県社会福祉協議会ボランティア・NPOセンター調査（2025年）

03 「なごみカフェしなね」概要



社会福祉法人ウエルプラザ

食堂名：なごみカフェしなね

場 所：特別養護老人ホームウエルプラザ高知

(高知県高知市一宮しなね2丁目15番19号)

開設日：令和3年8月

日 時：毎月第3土曜日 11:00～14:00

メニュー：カレー・サラダ・デザート

内 容：学習支援・食事提供・居場所づくり

料 金：こども（中学生まで）と75歳以上の高齢者は無料

大人は200円



(職員手作り看板)

03 「なごみカフェしなね」概要



社会福祉法人ウエルプラザ

目 的：共生社会の趣旨に賛同した地域住民と連携協力し、こどもを含む地域の方々が過ごせるサードプレイス・心地の良い居場所づくりを目指す。そのため、こどもから大人、高齢者を含む地域の方々にも参加していただけるようにしている。

対象者：（こども）近隣の一宮東小学校・一宮小学校・泉野小学校等の小学生や
保育園、幼稚園、中学生、高校生

（大 人）一宮地区の高齢者を含む地域住民

スタッフ：土佐いっく成年団・施設職員・学生（高校生、専門学校、大学）

04 こども食堂に取り組むに至った経緯



社会福祉法人ウエルプラザ

平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため、

「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設された。

(参考) 社会福祉法（昭和26年法律第45号）

第24条

- 2 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第二十六条第一項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない。

04 こども食堂に取り組むに至った経緯



社会福祉法人ウエルプラザ

- ・高知市一宮地区は生活困窮に対する相談件数が多い。
- ・一宮、薊野地区にこども食堂の場所がない。

→当施設にはスペースがある。

「子ども食堂」に取り組みたい

05 こども食堂開設準備



社会福祉法人ウエルプラザ

●こども食堂開設に向けて

- ①活動に関する申請について（申請書・補助金）
- ②ボランティアについて
- ③こども食堂の支援（人・食材）について
- ④小学校へのチラシ配布
- ⑤近隣のお店へのチラシ配布
- ⑥他の子ども食堂への見学
- ⑦他機関への情報提供

高知県社会福祉協議会さん、高知市社会福祉協議会さんよりサポート

05 こども食堂開設準備



社会福祉法人ウエルプラザ

●ボランティアについて

「土佐いっく成年団」の皆様（平均年齢70歳代）

- ・ 施設のホールで定例会実施
- ・ 施設の介護相談員（第三者委員）やボランティアとしての関わり



運営のご協力をお願いさせていただく。

05 こども食堂開設準備



社会福祉法人ウエルプラザ

●ボランティアについて

- ・「土佐いっく成年団」の皆様が毎回4～5名参加



05 こども食堂開設準備



社会福祉法人ウエルプラザ

● 食材提供



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



**施設職員中心にメニューを考案
調理も施設職員
(カレー・サラダ・デザート)**

06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ

●参加者（令和3年度～令和7年度）

※令和7年5月30日現在

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
75歳以上	10	38	78	66	10	202
19歳～74歳	131	126	197	196	34	684
高校生	0	0	7	5	1	13
中学生	3	9	30	17	7	66
小学生	174	276	374	464	115	1,403
保育・幼稚園	51	55	111	110	24	351
合計	369	504	797	858	191	2,719

※令和3年度は8月（2回開催）～3月開催で、合計9回開催の人数

令和4年度・令和5年度は毎月1回開催で、合計12回開催の人数

令和6年度は毎月1回開催+8月追加1回開催で、合計13回開催の人数

令和7年度は4月・5月開催で、合計2回開催の人数

06 活動内容

こどもたちへ福祉教育（福祉への興味）

高知県キャリア教育推進事業として、ノーリフティングケアレンジャーとコラボ企画を実施。

こども達にゲームを交えながら**福祉用具「リフト」等の体験**。



地域包括支援センターさんと

「こども向け認知症サポーター養成講座」を実施。



06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ

● こども食堂を通じて（未来への投資）

- ・ 施設利用者とかどもの触れ合い
- ・ ノーリフティングケアの体験
- ・ 介護、高齢者福祉の勉強

福祉に興味・関心を持ち、未来の福祉人材を育てる

● こども食堂を実施して（効果）

- ・ こども達や近隣住民の居場所
- ・ 世代間交流
- ・ ボランティアさんのやりがい（ウエルビーイング）
- ・ 施設職員の意識変革や教育
- ・ 地域とのつながり（連携）
- ・ 地域課題への取り組み（新たなサービスの創造）

06 活動内容



社会福祉法人ウエルプラザ

●施設職員の意識や教育について（人材育成）

- ・当初は事務所職員や主任、ユニットリーダーで運営をしていたが、現在は施設の介護現場で働いている介護職員も参画。（※毎回、6～7名の施設職員が参画）
- ・社会福祉法人としての使命や目的、こども食堂の役割や地域との関わりについて学び、福祉専門職としての視野を広げていく。
 - 知識や実践力向上に繋がる
 - 利用者の幸福、職員の成長や幸福、所属組織の持続的成長

地域共生社会への実現

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

●小学校との連携について

- ・こども食堂を通じて、地域の一宮小学校さんと連携

→小学校の取組みで「命をつなぐ」をテーマに、保護犬活動があり、

令和6年6月初めて譲渡会を企画される。

譲渡会で出会った保護犬が施設の一員となる。

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ



名前：ナオトラ（♀）

年齢：推定6～8歳

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ



07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

- 一宮小学校さんの「ワンニャン救助隊」の学生さんより
保護犬「ナオトラ」についてインタビューを受ける



07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

●ボランティアについて（運営）

- ・土佐いっく成年団
- ・地域住民
- ・高校生や施設実習（ソーシャルワーク実習、介護実習）を行った
大学生、専門学生

多くの方に運営のご協力をいただいている（感謝）

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

●ご寄付

- ・近隣住民、施設入居者家族様より食材等の寄付をいただく。

●フードバンク、フードドライブ事業（令和6年5月～）

- ・近隣スーパーのお客さんより提供。



多くの方からお気持ち（商品）をいただいております（感謝）

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

- ・ ほおっちょけん相談窓口（令和元年11月5日開設）
- ・ 令和4年10月より新たな事業「**基準緩和型サービスB型事業**」を土佐いっく成年団、高知市社会福祉協議会と実施中。

**地域と繋がることで、こども食堂の開設ができ、
新たな支援の創造と展開。**

社会福祉法人としての公益的な取り組みへの責務。

潜在化している地域課題へ目を向ける。

● 基準緩和型訪問型サービスB事業とは

- ・ 要支援者等の居宅において、介護予防を目的として、主に住民ボランティア等、住民主体の自主活動として行う生活援助等

内 容：身体介護を伴わない、概ね30分程度で完結する生活支援活動

対象者：高知市民

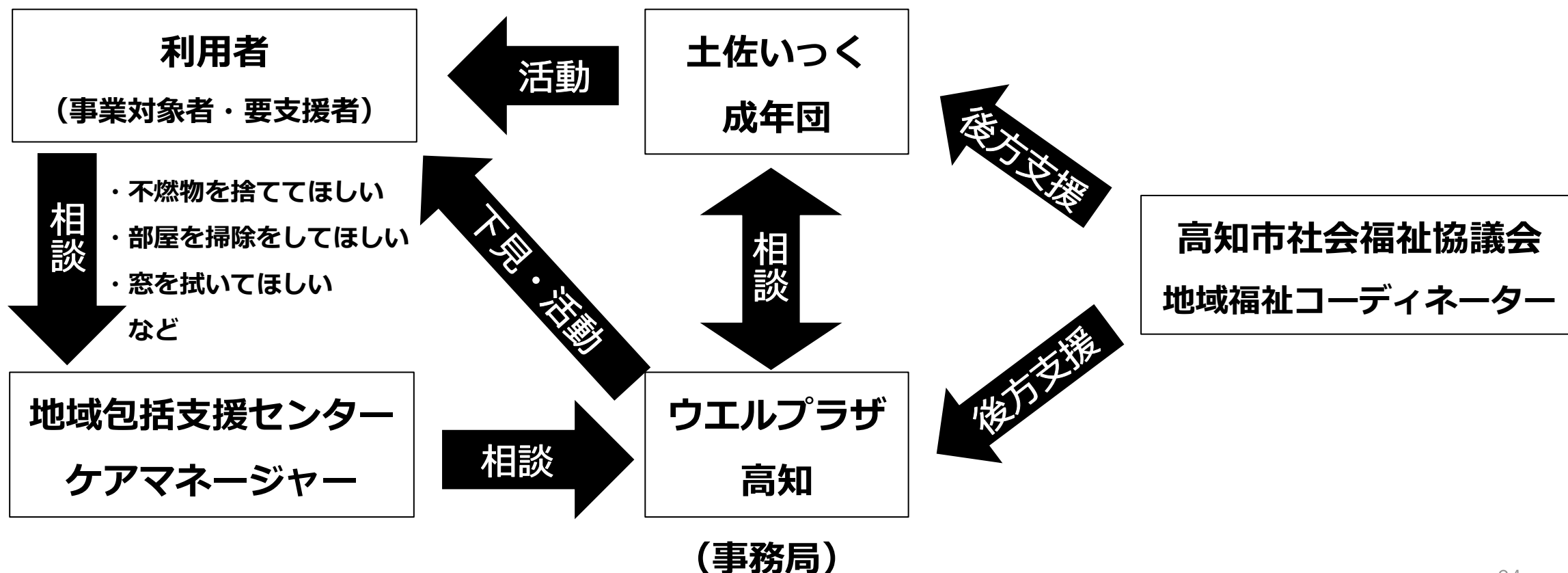
事業対象者・要支援者

07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

● 基準緩和型訪問型サービスB事業の流れ



07 地域との連携



社会福祉法人ウエルプラザ

● 基準緩和型訪問型サービスB事業の活動内容



08 今後の展望・課題



社会福祉法人ウエルプラザ

- ・ こども達の社会性向上（教育、食育）
- ・ 施設利用者との交流（世代間交流）
- ・ スクールソーシャルワーカーとの連携
- ・ 生活困窮世帯への支援

こども達の成長に繋がる、地域に根差したこども食堂



ウエルプラザ



検索



ご清聴ありがとうございました

